



未来 つなぐ

さくら会は二元代表制の下、是々非々で進めます!!

<p>さくら会 メンバーの ごあいさつ</p>	 <p>かわ なべ みのる 川名部 実 議員</p> <p>場当たりのかつパフォーマンス偏重で、確たる政策目標が示せない行政運営は、当市の未来を危うくします。今こそ、課題を見据えた生産的議論が必要です。</p>	 <p>いしわた やすお 石渡 康郎 副議長</p> <p>皆様方のご支援により二期目の当選を果たすことが出来ました。これからの地方議会はこれまで以上に地域の実情に即した、より建設的な議論が必要であると考えております。</p>	 <p>おし お とよゆき 押尾 豊幸 議長</p> <p>二元代表制のもと議会は執行部案に柔軟な形で修正案や対案が出せる能力が求められています。更なる議会の機能強化や議員の資質向上を図って参ります。</p>	 <p>さくらい みちあき 櫻井 道明 幹事長</p> <p>四月の選挙が終わり、新しいさくら会のメンバーと一緒に力を合わせて、これからの佐倉市作りを考え、実行してまいります。</p>	 <p>やまぐち ぶんめい 山口 文明 議員</p> <p>市政の主役は主権者・市民です。皆さんからの建設的な意見や提言が新しい佐倉市を造ります。ともに頑張りましょう。佐倉市監査委員に任命されました。任期は二年間です。</p>
 <p>ためだ ひろし 為田 浩 議員</p> <p>昨日より今日、今日より明日、すべてはみんなの笑顔と未来のために、佐倉だからできること、佐倉にしかできないことをしっかりと着実に進めてまいります。</p>	 <p>なかむら こうじ 中村 孝治 議員</p> <p>少子・高齢化対策や地元経済の活性化など、早急に取り組む課題が多くあります。これまでの経験を活かし、地域の声を聞きながらその解決に努めます。</p>	 <p>むらた じょうじ 村田 穰史 議員</p> <p>市民の皆様の声を市政に反映する事が議会の役割であると考えています。役所体質からの早期脱却を実現し、是々非々の姿勢を貫いてまいります。</p>	 <p>ひらの ゆうこ 平野 裕子 議員</p> <p>子を持つ親として、そして親を支える世代としても、住み続けたい佐倉市の実現のために、皆様の思いと声を市政に届けるべく、全力で行動して参ります。</p>	 <p>しきね ふみひろ 敷根 文裕 議員</p> <p>今回、初当選いたしました。三十代、若手として先輩方や市民の皆様にご指導を頂きながらこれからの十年、二十年先の佐倉市を皆様と作ってまいります。</p>	 <p>せいみや まこと 清宮 誠 会長</p> <p>喚起も込めて発つや、二尺玉花火師は、色・形・音等、全ての視点で一瞬を切り裂く。さらに、その後の反応さえ、予見している。学ぶべきだ。</p>

6月定例議会

「やくら」公議員の一般質問

6月定例議会 代表質問



清宮 誠 議員

二元代表制について

大阪の都構想をめぐる住民投票は、日本の地方自治体の転換期を思わせる出来事でした。それは、直接民主主義の手法を活用したためからです。地方自治体の選挙では、投票率の下限の規定はありません。今年の佐倉市の首長と議会議員の投票率は、若干アップしたとはいえ、今回も50%以下でした。有権者の半数が投票に参加しなかったのです。私達は、2分の1の投票率で選ばれているという事実をどう評価するのか。

さらに、現行の制度では、首長と議会が相互に牽制し合う二元代表制の仕組みが取られておりません。日本で最も影響力のある放送局の解説委員によれば、「この制度下では、市民は議員より首長さんを信頼します。何故なら、得票数が全然違うのですから。」と断定しました。私は自分の耳を疑って質問しました。「では、議員はどうすれば良いのですか?」と。改めて言うまでもなく、得票数の差は、

被選挙人数の差が原因です。議員の上位当選者は、量的には市長と同等となります。さらに、根源的誤りは、制度の権限の問題を無視して量の問題を「市民の話聞く」という方法論にすり替えているところだと思います。人前で「解説」する著名人であれば、勘違いは許されません。

そこで質問ですが、低投票率、機能不全の二元代表制下で選ばれた私達への課題は重い。今後の市政運営の基本的な方向性は何か。

これまでの市政運営の経験を生かしながら、持続可能な行政運営を堅持しつつ、現状を分析し長期的な視点で、また広域的な視野を持ちながら、攻めの施策・展開を図りたい。

【ポイント】

- ① 「持続可能な堅持」が難しいのでは?
- ② 「長期的」とは、どのくらいの年数か。
- ③ 「広域的」とは、印旛管内をさすのか。
- ④ 「攻め」の施策とは、具体的に何か。

以上のような問題点について、9月以降の議会でもぜひに深められることを期待したい。

財政の健全化について

民主主義の評価の問題を、量

による質への転化の危うさについて、さらに、それ故に情報公開と説明責任の重要性について述べました。二元代表制の機能不全も、市民に戸惑いを与えてしまった面もありますが、議会制民主主義の限界と切り切るのは早計でしょう。これまでの地方自治体は、持続可能性を目指して、平均化した行政運営を行って来ました。この度の「まち・ひと・しごと創生法」は、「持続可能」から「選ばれる」まちづくりへと転換期を迎えていることを示唆しているのではないのでしょうか。とすれば、今後の行背運営には、市民や歴史から学ぶことも重要になって来ると思います。「佐倉市以外なら、何処でも良い」と、直接、私に話しに来る人もいました。しかし、よく聞いてみると、「自分が何が出来ることがあるのではないか」と悶々とされているのです。漱石も『草枕』で、「人の世が住みにくいからとて、越す国はあるまい。」と云い、さらに「閣僚の肩は数百万人の足を支えている。背中には重い天下がおびさっている。」と政治家が官僚の役割を述べています。

財政基盤の強化が必須条件だが、財政の健全化を示す指標は良好だが、扶助費や社会保障費の増加により、財政の硬直化を示す経常収支比率は近年上昇している。今後、社会保障費の増加のほか、道路・上下水道・公共施設の老朽化対策など、10年で約490億円の経費が必要と見込まれており、限られた財源の重点的、効率的配分により、持続可能な財政運営を進める。

【ポイント】

- ① 交付団体である限り、「良好」はあくまでも相対的なものだ。
- ② 財政の硬直化はずっと言われ続けてきている。国の政策に大きく影響を受けるので、その対策は容易ではないが。
- ③ インフラ整備は急務だが、財政は難しい。市民の理解を得る手段が必要なのでは。

以上の問題については、9月に決算委員会も開催されるので、十分な議論を期待したい。さらに、その結果を来年度予算に生かして頂きたい。

二元代表制について

大学誘致問題は、その後、何らかの進展は見られたか。市長は「選挙後、ひびき詰め談判する」と話していたが。

選挙後、順天堂大学より、引き続き協議願う旨の申し出があり、先日部長等が大学を訪問。今後、大学の理事長と市長の間で面談を実施すべく調整を図る。

そこで質問ですが、硬直化する市財政の現状と今後の見通しについて。人口減少、高齢化、災害やインフラの老朽化対策等、

た。しかし、現在はまたもとに戻ってしまった。この堂々めぐりは許されない。その理由を明確にし議会も市民に説明すべきだ。

これは、二元代表制の機能不全だと申し上げてきた。市民が市長と議会との両者に不信任を抱く結果となってしまっている。市民が議会制民主主義に疑問を持つようになってはならない。

以下、紙数の関係で不本意ながら省略させて頂きます。既存の議会報告が簡略化されてしまうので、今回はあえて質問の前段の討論と答弁の「ポイント」を付加しました。市民の皆様の御理解の助となればと願っております。

6月定例議会 個人質問



村田 穰史 議員

市長のいいかげんな出張について質問しました。又、議会を軽視したその出張のありかたについても厳しく追求し、その結果市長の北海道出張は中止となりました。

フランス出張について

市長のフランス出張について、50万円もの旅費が計上されているにも関わらず、議会になんの説明もないのは、意図的に隠したと思わざるを得ないがその理由は。

特別旅費の内訳までは説明しなかった。

航空機は40万円もするビジ

ネスクラスを利用しているがその根拠は何か。

国家公務員の例に準じている。

航空機への搭乗がわかる搭乗券や搭乗シートは提出されているか。

提出されていない。

航空機に搭乗した時の特典のひとつにマイルサービスがあるが、マイル登録はしているか。

加算していない。

国の基準では、航空機に搭乗した事がわかる資料の提出を、する事としている。又、マイルは、公用カードを作成して、次回の出張に活用するよう通達がされている。佐倉市は、当然のように国家公務員の例に準じているが、全くそのようになっていない。その都度都合のいいようにしているだけである。

あいまいな旅費ルールの下、高額な出張をしていたのでは市民にその説明がつかない。説明がつかない限りは出張にできる資格さえないと考える。

北海道出張について

市長が召集をかけた議会の会期中、しかも3つの常任委員会が開催される予定の日程での北海道出張は、その重要性や緊急性から考えても、議会軽視の最たるものである。出張を中止して、自身が召集をした議会を最優先させるべきである。

中止も含めて検討する。(結

果的に市長の出張は中止になった。）

6月定例議会 個人質問



平野 裕子 議員

子育て支援について

問 大崎台学童保育所と佐倉東学童保育所については、施設の老朽化、職員の配置に苦慮する2階建てという構造の面からも、学校内への整備を望む声がある。今後の予定は、寺崎学童保育所の拡充と学校内への検討をする。

問 一時預かりのリフレッシュ利用について、月回数の増と利用時間の範囲の拡充を求める。

答 今後、検討していきます。

夏休み中、子ども達は朝からお弁当を持って学童に行く。滞所時間も長くなる中で、より良い環境の中で過ごさせるのが、子ども達にとって、もっとも大切なことだと考える。

市として今後もしっかりと指定管理者に指導員の指導、管理の徹底を要望。

佐倉東保育園民営化については、保護者に合わせた情報発信、出来れば個別のお手紙等の情報提供を提案。

高齢者福祉について

問 地域には、引きこもりがちの高齢者や日中独居となつてしまつた高齢者など様々な課題を抱える高齢者がいる一方で、元気な高齢者の方々もいる。引きこもりがちの高齢者への働きかけなど、地域包括支援センターが、この元気な高齢者の方々、例えば市民力レジの生徒や卒業生や地域の高齢者クラブの方々などと一緒に取り組めることがあると思う。働きかけていくということ考えはあるか。

答 皆様の協力をいただけるよう、働きかけていく。

子育て支援策もそうだが、必要としている人、対象になる方々に届いてこそ情報が生きてくるのだと思う。今議会中、市長が市民の皆様への介護サービスなどの情報が弱い旨の答弁があった。市では常々、広報さくら、回覧板、公共施設として市のホームページというが、それほど情報が市民の方々に届いていないと思わない。福祉支援や子育て支援等の保存版の広報さくら特別号などは、生鮮食料品店やコンビニに置いていただく等、身近で効果的な手段をとるべきだと提案。

佐倉の顔づくりについて

問 佐倉市には駅が6つあり、来訪者が一番最初に佐倉を感じるのが駅前になる景色だと考える。今後の整備計画は、

答 良好な景観形成にむけて、景観計画を策定中。今年度から立地適正化計画に着手予定。

6月定例議会

さくら会から修正案を提出

議案第1号

平成27年度佐倉市一般会計補正予算に対する修正動議

修正は、「長嶋茂雄記念岩名球場改修事業」に関する予算を全て削除するものです。

「長嶋茂雄記念岩名球場改修事業」は、総額16億6813万3千円と多額の税金が投入され



としての役割を十分果たすことはできません。必要な情報を議会に示していただいたうえで、

再度審議する必要があると考え、修正案を提案しました。

特別職公用車の賃貸借に関する予算を削減する修正案

特別公用車の賃貸借に関しましては、現在の市長車が購入後7年、走行距離17万キロと教育長の共用車として活用したいという提案ですが、総務常任委員会の審査の中で、「リースを予定している車が、半年で約100万円、現在の市長車よりも高いグレードのものであること」が明らかとなりました。

うえで、再提案すべきと考え、総務常任委員会の修正案に賛成いたします。

厳しい財政状況が続く現状において、高価な市長車の導入については、その優先度合いは低いものと考えています。

今回の提案にも含まれている、更に老朽化した副市長車・教育長車を含め、特別職公用車の導入やその利活用に関する考え方を整理し、財政状況を勘案した



順天堂大学誘致について

平成24年11月定例会において、さくら会から「大学誘致に関する意見書」を提出し、議決されました。これ以降、大学誘致に向けた活動を積極的に進めております。

昨年11月定例会のさくら会代

表質問に対して市長からは、「平成25年11月19日に、順天堂の理事長から、新たにスポーツ健康科学部の拡充を検討しており、順天堂大学としては、用地の無償譲渡又は無償貸与を前提条件として、施設建設費に対する公的資金補助が可能となれば、佐倉市内へ3学科の2年、4年生870人が利用する新キャンパスを設置したい旨の要望があった。

佐倉市としては財政状況を考

えると、大学の施設建設に多額の助成を行う余裕は無いというのが実情であるが、佐倉市にとって順天堂大学は大変ゆかりの深い大学であり、今後、順天堂大学の構想案を拝見した上で、候補地や条件となっている資金補助の可能性などを含め総合的に検討をし、判断していきたい」と答弁がありました。

今後ともさくら会は、順天堂大学の誘致に向けてさらに取り組んでまいります。

表彰

市議会議員として、地方自治の伸張、発展と市政の向上、振興に貢献したことが認められ、さくら会の中村孝治議員が表彰されました。

一般表彰議員
在籍20年



中村 孝治 議員

佐倉市議会 5月臨時会

市議会議員長に押尾豊幸 副議長に石渡康郎が 就任

佐倉市議会5月臨時会が5月20日に開かれ、4議案すべてが、承認・同意されました。

また、これに先立ち、議長・副議長の選挙が行われ、議長に押尾豊幸、副議長に石渡康郎が選出されました。このほか、常任委員、議会運営委員が新しく選出されました。(議会の構成については下段に掲載しています。)



おしお とよゆき
押尾豊幸 議長

平成11年4月初当選以来、連続5期目。
この間、第49代議長、第56代副議長などを務める。
[無所属・64歳 本町在住]



いしわた やすお
石渡康郎 副議長

平成23年4月初当選以来、連続2期目。
この間、広報公聴委員長、議会運営副委員長などを務める。
[無所属・64歳 高崎在住]

会派・各常任委員会等 議長 押尾豊幸 副議長 石渡康郎

委員会 会派	総務 常任委員会	文教福祉 常任委員会	経済環境 常任委員会	建設 常任委員会	議会運営 委員会	広報公聴 委員会
さくら会	村田穰史 ◎櫻井道明 押尾豊幸	敷根文裕 ○平野裕子 ◎川名部実	石渡康郎 ◎中村孝治	○爲田 浩 山口文明 ◎※清宮 誠	平野裕子 爲田 浩 ○村田穰史 中村孝治	敷根文裕 爲田 浩 平野裕子 ◎村田穰史
公明党	○小須田稔	※森野 正	岡村芳樹	久野妙子	◎岡村芳樹	○久野妙子
のぞみ	※橋岡協美	望月庄子	徳永由美子	斎藤明美	※橋岡協美	斎藤明美
市民 ネットワーク	※伊藤壽子	五十嵐智美		大野博美	五十嵐智美	五十嵐智美
日本共産党		木崎俊行	※萩原陽子		木崎俊行	木崎俊行
会派に 属さない議員	藤崎良次		○高木大輔 冨塚忠雄	山本英司		高木大輔

議員番号順、※会派代表者、◎委員長、○副委員長

組會議会・委員会等 ◎議長

印旛衛生施設管理組合	伊藤壽子、村田穰史
印旛利根川水防事務組合	森野 正
佐倉市、酒々井町清掃組合	岡村芳樹、櫻井道明、清宮 誠
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	爲田 浩、冨塚忠雄
佐倉市八街市酒々井町消防組合	久野妙子、小須田稔、中村孝治
千葉県後期高齢者医療広域連合	清宮 誠
印旛郡市広域市町村圏事務組合	押尾豊幸 (議長)
佐倉市監査委員	山口文明
佐倉市農業委員会委員	川名部実、櫻井道明

佐倉市議会 6月定例会

一般会計補正予算・ 修正可決

市長車貸借料と岩名球場改修 事業を減額修正

佐倉市議会は6月15日から7月7日までの23日間にわたり、平成27年6月定例会を開催しました。今定例会では、市長から平成27年度佐倉市一般会計補正予算「など議案15件と諮問3件が提出され、審議の結果、議案第1号の一般会計補正予算は修正可決、そのほかの17件はいずれも原案のとおり可決または同意しました。

請願・陳情については、「国における平成28(2016)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書「など5件が、議員提出議案については、「佐倉市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について」など11件がそれぞれ提出され、審議しました。
また、一般質問には、各会派の代表質問に5人、個人質問に14人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

佐倉市議会さくら会

「さくら会」は、地方分権が進む中で、議員の倫理及び資質を高めて、佐倉市議会のより一層の充実を図るとともに、快適で安全な佐倉市を創ることを目的とする。

「さくら会会則第3条」

- | | | | |
|-----|-------|----|-------|
| 会長 | 清宮 誠 | 議員 | 爲田 浩 |
| 幹事長 | 櫻井 道明 | 議員 | 中村 孝治 |
| 議長 | 押尾 豊幸 | 議員 | 平野 裕子 |
| 副議長 | 石渡 康郎 | 議員 | 村田 穰史 |
| 議員 | 川名部 実 | 議員 | 山口 文明 |
| 議員 | 敷根 文裕 | | |

編集後記



清宮 誠

今期のテーマは、「未来」。未来は現在の延長線上にあるもの。ですから、「現在」が私達の「始点」です。その始点に有る諸課題が、私達の未来とどう繋がるのかを考える。実現への努力を重ね続けなければなりません。従って、当面する課題を分析し、深化する努力が問われます。始点は、更新されていくのです。例えば、順天堂大学の問題では議会決議を。市民との交流では意見交換会を開催しました。それらの過程や結果を、再度見直し、始点を更新することが、未来へ繋がる道なのです。